

第2回 江部乙中学校区 学校運営協議会(概要)

日時 令和元年11月22日(金)18時30分～19時30分
場所 滝川市立江部乙中学校 コミュニティ室

【司会進行 事務局校 教頭 小笠原 真樹】

1. 開会の後、2.「会長挨拶」では、**平澤一彦会長**からご挨拶がありました。
「日々お仕事でお疲れのところ、多少時間がかかるかと思いますが、今後の学校教育のために、よいご討議をよろしくお願い致します。」
という内容のお話を頂きました。



平澤一彦会長挨拶

- 3.「各学校の教育活動及び学校評価について」、各学校の教頭より説明がありました。

- (1) 始めに、**江部乙中学校 川田一之校長**からご挨拶がありました。
「学校活動の取組について、この後、教頭から説明がござい
ます。その内容をお聞きいただき、委員皆様の貴重なご
意見をよろしくお願い致します。」
という内容のお話がありました。



川田一之校長挨拶

その後、下記の件について、**小笠原真樹教頭**より、説明
がありました。



小笠原真樹教頭説明

- 1.江部乙中学校教育活動の取組
 - ・確かな学力の育成
 - ・地域・関係機関と連携した地域学習
 - ・地域・関連機関と連携したキャリア教育
 - ・関係機関と連携した国際理解教育
 - ・江部乙小学校の連携
 - ・その他(関係機関との連携による教育活動)
 - ・「いじめ」「不登校」への対応
 - ・健やかな体の育成
 - ・学校評価(7月、11月の結果)
- 2.全国学力・学習状況調査の結果について
- 3.令和元年度学校評価の実施



中島 淳校長挨拶

- (2) 次に、**江部乙小学校 中島 淳校長**からご挨拶が
ありました。

「(学校の現況についてのご説明)…今後、小・中学校の統
合のことも踏まえ、大きな学校に行っても活躍できる子
ども、ふるさとに誇りを持ち、社会に貢献できる子ども
を目指しながら、日々、教育活動を進めております。」
という内容のお話がありました。

その後、下記の件について、**高橋一徳教頭**より、説明が
ありました。



高橋一徳教頭説明

- 1.江部乙小学校教育活動の取組
 - ・全国学力・学習状況調査の結果について
 - ・学力の向上(実態、取組)
 - ・生徒指導
 - ・体力の向上(健やかな体の育成)
 - ・学校が一体となった取組
 - ・その他(小一プロブレム、中一ギャップへの対応、
学校環境の改善と見える化)
- 2.学校評価(1学期自己評価結果と今後の改善・充実に向けて)
- 3.令和元年度 主な学校行事等



4. 中学校と小学校の説明後、「質疑応答」が行われました。

<各委員から出された主な質疑応答・協議> ○ 質問 ◇ 見解 △ 意見

○ 学力・学習調査で「平均より、上回っている、やや上回っている……。」となっているが、どういうところがよいのか、悪いのか具体的に教えてほしい。

◇ 英語については、正答率が高く、全国平均より上回っている。領域別で見ると、「聞くこと」は全国平均より上回り、「読むこと」「書くこと」については、同程度(下位)、やや下回っている。「話すこと」については、全国平均を大きく上回っている。
今後、英語科については、語彙力を伸ばす活動を繰り返し行い、文法理解を深める活動を充実させていきたい。
しかし、国語、数学については、全国平均を下回っている。
特に、国語の領域別では、「書く」「言語文化」が、全国平均より大きく下回っている。
今後、「与えられた条件を満たして書く」活動を中心に力を伸ばしていきたい。
数学の領域別については、「数と式」「関数」が、全国平均より大きく下回っている。
今後、基礎的な知識の定着と応用問題に多く取り組みながら、力を伸ばしていきたい。

△ 中学校の標準学力検査(NRT)の結果を見ると、平成30年度の1年生は、令和元年度で2年生である。結果を見ると若干良くなった教科も見られるがあまり変わっていない。しっかりと分析しながら向上するよう頑張ってください。

◇ 今後も、それぞれの領域を分析しながら、しっかりと取り組んでいきたい。

○ 小学校の学力調査結果の%の振り分けを教えてください。

◇ 領域ごとに、全国の平均正答数を100として考え、「○→正答率90%以上・●→50%前後・▲→40%以下」としている。

△ 学力検査の結果を見ると、▲の領域は、中学校で引き上げるのは大変である。小学校の内に、もっと理解し、引き上げられるよう、ぜひ取り組んでほしい。

◇ 今後も、引き続き努力をして参りたい。



会議全体の様子



小学校の運営委員



中学校の運営委員

5. 「主な学校行事と今後の活動予定」について、司会の小笠原教頭より議案通りの連絡がありました。

<各委員から出された主な質疑応答・協議> ○ 質問 ◇ 見解 △ 意見

○ 今迄と評価方法は変わるのか。どのように対応したらよいのか見えない。今迄と同じ評価とは思えないが…。

◇ 報告書の様式は、前回(第1回)に提示した様式と基本的なスタンスは変わらない。

1月頃に、学校評価の分析内容と学校関係者評価書を郵送する。

小学校は、小学校の運営委員、中学校は、中学校の運営委員が評価する。



最後に、第3回の学校運営協議会の日程については、委員の皆様と日程調整を図りながら決定していくとの連絡がありました。

仕事等でお疲れのところではありましたが、委員の皆様の熱心な協議により、実り多き会議となりました。ありがとうございました。